



香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなで」第13号 2020.6.8(月)

— 社会の授業から 6 / 5 —

## 飛鳥の石造物



飛鳥には多くの石造物が残されています。猿石、亀石、二面石、大きな石かんの鬼の雪隠や鬼の俎。酒船石、そして、石舞台古墳。ナゾを残す多くの石の建造物があります

社会の授業では飛鳥の石像のことを扱ったビデオを見ました。

・鬼の雪隠の上に鬼の俎が元はあって、一つの石棺だったと推測されること。

・飛鳥の石は、とてもかたいかこう岩でできており、石には、はん点があること。固いかこう岩をけずる技術は飛鳥時代だけに伝わる技術であり、後の時代には伝わっていないこと。

・石の石像物の中には、明らかに日本人とはちがう顔(鼻の高い西洋人の顔)がある。これは、当時は遠くから外国人を招いており、外国との交流がさかんであったこと、天皇の力を内外に示した証拠であったこと。

・齊明天皇がぜいたくの限りを作らせたという両槻宮(大変大きな庭園)と思われるところが、近年発掘され亀形石像物が発見されました。それが七五mはなれた丘の上にある酒舟石(これまで何のための石かわからなかった石物です)の三本のみぞの一本から流れているのではないかとわれ、ここに大きな流水施設があったと

予想されています。その宮を作らせるたくさん石を天理の方から運ばせていたことがわかりました。

飛鳥には、技術を持った多くの渡来人がうつり住み、西洋人がきたと考えられています。きつと多くの人が集まりにぎわっていたことでしょう。しかし、都が奈良に移されると、飛鳥は歴史からは消えることになりました。それも不思議な石だけを残して…。飛鳥人は後世の人にどんなことを伝えたくてナゾの石を作ったのでしょうか？いろいろな想像してみてください。

### ☆授業の感想から☆

・飛鳥の石はどれも、不思議な形で、どうしてここに置いたのか、どういう風に作ったのかなど、まだまだわからないところだらけで少し気になりました。どれも発想がとも面白いです。特にすごいと思ったのは、岩をけずって部屋を作っていたことです。本当に謎だらけの石がたくさんありました。

(藤岡)

・飛鳥には石造物がいっぱいあって、いろいろ名前の石造物があることがわかりました。そして、見たことのない石だったので、驚き、すごいと思いました。また機会があれば飛鳥に行ってみたいです。

(谷口)

・写真だと大きさがわからなかったけど、ビデオで見ると、すごく大きくて驚いた。須弥山石は宇宙の中心だと考えられていたことを知って、実際に行ってみたくなった。

(佐藤こ)

・ぼくは、飛鳥の石造物に少し興味を持ちました。石造物のほとんどが不思議で奇妙な形をしているからです。それと、ぼくが一番知りたくなかったのは、なぜこんな不思議な形にしたかです。今度自分で調べてみたいです。

(佐藤心)

・ぼくは、飛鳥時代の石造物はとても不思議だなあと思いました。知らない石や面白い石もたくさんありました。コロナが終わったら家族で行きたいと思います。

(岩本ひ)

・飛鳥の石は、様々な大きなものがあつたとわかつたし、いろいろな形のもがあつたと分かつた。しかし、何のために作つたのかわからないものもたくさんあつた。昔の人はどういふ思いで作つたのを知りたい。

(八田)

・すごくいろいろな石造物がありました。大きい石造物や小さい物など、こんなに奈良県に石造物があるんだとびっくりしました。見に行けなくて残念です。時間があれば、家族みんなで行きたいです。

(高山)

・飛鳥の石像物がたくさんあることを初めて知つた。そんな昔から石をどうやって作つていたのが気になつた。古墳や石造物は大きな石を使つていたけど、そんな石はどこにあるのかなと思つた。

(川原)

・飛鳥文化の石像物を知ることができた。今年予定だった遠足の歩く距離が、聞いた所、めちゃ長かつた。亀形石造物は思つたよりもでかつた。鬼の姐もすごくでかつた。ぼくは歴史が好きだ。

(木村)

・飛鳥には、たくさん石があつて、ほんまに人が作つたのかな？五年ぐらいかつたのかな？と思つてました。色々な古墳を見て、すごいと思つたのがあんな大きな岩を人が運んだことです。1m以上の岩を、木などを使つて運んでいて、一体何人の人で行つたのかなと思つた。

(菅野)

・飛鳥にはたくさん石があるなんてびっくりした。石の名前は、すべて聞いたことない名前だったので、今回の勉強で知れてうれしかつた。遠足に本当は行きたかつたのに、コロナのせいで行けないいなんでくやし。今度、機会があれば、ぜひ家族全員で行つてみたい。

(奥谷)

・私は一度、明日香村に行つたことがあります。亀石と鬼の雪隠・組、酒船石と入鹿の首塚と石舞台古墳を見ました。石舞台古墳はとっても大きくて、びっくりしました。私は飛鳥には、たくさん昔のものが他にもあると思つた。

(三瀬)

・私は飛鳥の石造物を見たかつたけど、遠足に行けなかつたのが残念です。昔の人は、今より道具がないのに、この石造物をつくれて、知恵があつてすごいと思つた。石から面白いものが出来て、この石は何のために作られたのか気になりました。

(下田)

・飛鳥には、石でできた物がたくさんあつて、石舞台古墳や牽牛子塚古墳の石はどうやって持つてきて、のせたり、くりぬいたりしたのだろうと思つた。昔の人の技術はとてもすごいものを持つていたことを知つて、遠足で見えたかつたです。また家族で行きたいです。

(大武)

### 【考古学のお話⑤】—トイレの話—

チュウ木でおしりをふいていた昔の日本人のことがわかつたと思つますが、今回は「おしりをふく物」についてのお話をして、トイレの話を終わろうと思つた。

今は、トイレトペーパーでおしりをふくのが当たり前になつて、ウォシュレットとかいう便利な便器もできていますが、世界の国々では、紙ばかりではありません。次のようなものを使つておしりをふいています。

指と水、指と砂、小石、葉っぱ、くき、とうもろこしの毛・しん、葉、ロープ、木片、竹、べら、布切れ、海草、雪、紙など。

指でふくという習慣の国も多いのですが、水と指という国も多いようです。本で見ただけですが、インドネシアの小学校の便所には、便器のよこに水がくんであつて、ウンコをした後に水であらうようです。また、スウェーデンでは、便器のよこに、小さいシャワーがあり、それであらうようです。指であらうというのは、日本ではいいことあることかもしれないけど、本当は、どっちがきれいなんでしょうかと思つた。指+水かそれとも紙か？それは、ウンコのかたさや水分の量によつても決まつてくることなのでしょう。

トイレのお話これで終わり。



香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんな」第14号 2020.6.9(火)

## 何かの長に



長―委員会の委員長、クラブの部長、部長、班長、クラスのリーダー、学校行事の実行委員……。これらの仕事の役割は、みんなの代表者として会議に参加して意見を述べたり、話し合いで決まったことを伝えたり、中心となって活動したりする、なくてはならない存在です。その大切な役割をするのが六年生であることは、言うまでもありません。委員会や、クラブで、部団で、何かの長となり、活躍してほしいし、クラスをはなれた他の場でも力を十分発揮してほしいと思います。

しかし、六年四組が始まった早々、残念なことがありました。運動会の色分けをするために、応援団の募集をしたところ、三人しか立候補がありませんでした。最後の運動会なので、団長になれる機会があるにも関わらず、四人以上の立候補がないのです。他のクラスでは十人近い立候補があったようです。最低各クラス四人が必要ですが、立候補がないものだから、四組の一つの色だけは他のクラスの人にやってみようことになりました。強制ではないので仕方ありませんが、なんとも残念に思いました。

二学期になったら、運動会前に応援の練習があります。これまでもそうでしたが、いつも

見ている、六年生のやる気のなさが目につきます。応援歌の声も小さいなら、イヤイヤやらされていくような様子でした。自分たちが立候補せずに、応援団の人たちにやってもらうんだから、応援団になった人には、ぜひ協力すべきでしょう。二学期の運動会ではそうあってほしいです。

話がとんでしまいましたが、何かやってみようと言う気持ちを持ってほしいのです。今週から委員会が、その後クラブも始まります。今度こそは、積極的に何かの長に立候補してほしいです。何人の人が長になり、学校のために力を貸してくれるでしょうか？楽しみにしています。

## みんなの日記から



□「休校中の生活」

澤田ひなた

私は休校中、パパに一日の時間割を作ってもらい、生活していました。

月曜日から金曜日まで、学校と同じように、四十五分勉強して、五分間休けいしてと、学校がある日のリズムをくずさないように毎日時間割を守って生活しています。

また、パパが六年生の予習として、プリントを作ってくれました。わからないところは教科書を何度も読んだり、調べたりして取り組み

ました。なので、分散登校が始まった今、時間割のおかげで、朝も早起きができて、体がついていかないと言うこともなく、勉強も予習しておいて良かったと思うばかりです。

また、休校中はお手伝いや、なわとびなど、いろんなことに挑戦したので、こんな生活もありだなと思うこともありました。

今は、感染者の数も減ってきています。前と比べるとすぐく変化してきていて、一人一人が意識をし、日本中の人々の心が一つになったから、このような変化があるのではないかと私は思います。そう思うと、自粛期間も無駄ではないと思うし、日本の人々の心が一つになったのもすごく誇りに思います。

□「緊急事態宣言の中の生活」川原ことみ

緊急事態宣言が出ている時、家で学校のように時間割を立てて勉強をしています。時間も学校との事ようにして過ごしています。一日一回は、外に出て運動しなさいとお母さんに言われているので、たまに外で遊んだり一日一回、外でなわとびをしたり、家族で散歩したりして運動しています。

前までお父さんはお仕事もお休みで、お手伝いをそんなにやらなかったから、少し楽しんで。しかし、少し前からお父さんが仕事に行き

始めたので、お手伝いをいろいろしないといけなくなりました。昼ごはんを準備したり、皿洗いをしたりと、弟の分と自分の分をしないといけないから少し前よりは大変でした。六月からは学校が再開するので、それまでにやりたいことなどはやっておきたいです。

□「休校中の時」

八田菜愛

私は、休命中、最初はとてもひまでした。お姉ちゃんは、ほとんど毎日、おかし作りをしていて、私も何かやりたいなと思っていましたが、なかなかやる事が見つからず、もったいない日を過ごしていました。

ですがある日、お母さんが職場で使うマスクを作っており、(なんか楽しそう。)と思ったので、手芸をやってみることにしました。すると、意外にもけっこう楽しく、(これなら、ひまつぶしになる。)と思い、ひまな時は、手芸をすることにしました。

初めの方は、シユシユなど、簡単な物を作っていました。だんだん慣れてきたので、お父さんにファスナーを買ってきてもらい、ポーチなども作るようになりました。ミシンを使うと、難しい物も作れて楽しいです。

六月からは、学校が始まりますが、これから、たまに手芸をやりようと思います。

クラブ	
球技・運動	酒井・谷口・戸川・安川
昔遊び	磯田・佐藤ふ・高山・西野・堀川
囲碁・将棋・ゲーム	大武
バドミントン	井上・奥谷・木村・中岡
卓球	岩本ひ・上田・倉谷・塚本
科学	菅野
パソコン	川原
マンガ	土家
バスケットボール	岩本な・佐藤こ・渋谷・三瀬
金管	澤田・下田・藤岡・八田
焼き物	井阪・久保
手芸	岡田・喜沢

委員会	
図書	菅野・川原・木村
栽培	堀川・藤岡・井阪
運動	戸川・高山・岩本ひ
掲示	喜沢・澤田・渋谷
健康	井上・岩本な・谷口
放送	西野・土家・佐藤ふ
安全	上田・安川・中岡
美化	大武・岡田・下田
ボランティア	酒井・三瀬・塚本
集会	佐藤こ・久保・倉谷
給食	磯田・八田・奥谷



香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなで」第15号 2020.6.9(火)

五〇m走の不思議をさがせ その①

スポーツテストにもある五〇m走など、短距離走の学習は、記録をとってそれで終わりの授業が多いようです。その裏には、短距離走は、どれだけががんばって走った所で、生まれつきの才能によるものであると考えられ、そんなに時間を短縮できるものではない。また、ただ走るだけなので、イマイチ面白くないという理由から、時間をかけることもなく終わってしまいがちです。

しかし、短距離走の授業と言うのは、走りには、ひそむ不思議を知ると、確実にタイムを縮めることができます。走ることに関わるいろんな実験をして、その不思議を見つけてほしいです。タイム短縮を目指して、この学習をスタートさせましょう。

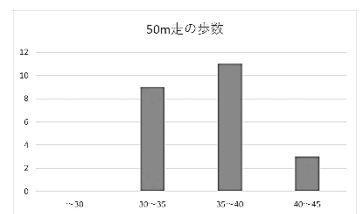
そこで、最初の質問です。

(Q) あなたは五〇m走を何歩で走っていますか。はじめの二〇mを何歩で走っていますか。

十歩とか百歩とか予想する人もいましたが、多くの人が五〇歩〜六〇歩(15人)、次いで、四〇歩〜五〇歩(12人)と、予想していました。その根拠として、一步当たり1mと考えていたようです。

それで、ペアになって、歩数を数える練習を

した後に、五〇mのタイムを取るのに合わせて、歩数を数えてもらいました。その結果、だいたい三五歩前後の人が多く、二〇m走は、その半分の数字になっています。



距離では三〇mの方が長いのに、だいたいの歩数が同じになる(五〇mの歩数―二〇mの歩数)のは、二〇mまでは小走りになっていて、三〇mからは、徐々に大きくなっていくからです。

さて、久しぶりに体育で思い切り走ったというところもあって、たった、三、四回走っただけなのに、みんなはへばっていました。もっと走ってもらいたかったのですが、みんなの様子を見て、授業を早めに切り上げました。

みんなの感想から

・久しぶりに走ったけど、前の時よりタイムが上がっていたからよかった。(渋谷)

・五〇m走の歩数と速さがわかったので、これからどんどん速くできたいと思う。あと、歩数は少なければいいの、多ければいいのかが知りたい。(塚本)

・走るの、苦手だけど、楽しくできた。五年生より足が速くなった。(倉谷)



・去年よりタイムが縮まった。走っている時の歩数なんて、今まで気にしていなかったから、知れてうれしかった。

(井上)

・五年生の時と比べて、速かったの、とてもうれしかったです。五〇mを予想では五〇歩としたけど、結果は三五歩でした。とてもつかれたけど、いい運動になりました。

(喜沢)

・いつもは何も考えずに、タイムだけを見て走っていたけど、今日の授業で、自分がどれぐらいの歩数で五〇mを走っているのか知れました。また、二〇mの記録は五〇mの約二倍だと言ったことが分かりました。

(澤田)

・五年生の時より記録がのびたので、うれしかったです。あと、五〇mを何歩で走っているのかは、予想と全然ちがっていたので、ビックリしました。

(土家)

・五年と比べて、初めて9秒を切ったので、本当にうれしかったです。また、歩数の予想はあまり考えたことがなかったので、すごくびっくりしました。

(堀川)

・私は今まで、一歩でも進んでいないと思っていましたが、記録は三五歩だったので、すごく進んでいて、とてもビックリしました。

(久保)

・去年よりすごくタイムが速くなっていて、すごくうれしかったです。二〇m歩数は、予想にすごく近かったけど、五〇mは全然ちがっていました。次やる時も、もっと速く走りしたいです。(上田)

## みんなの日記がう



□「六年生になって」

菅野日和

私は、六年生になってがんばりたいことがあります。それは、部団長です。近所の仲の良い友達と学校の話しながら、部団を盛り上げていくことです。

もう一つがんばりたいことがあります。それは、勉強です。私は勉強があまり好きではありません。でも、勉強が得意にしようと思います。

学校生活の最後の一年なので、楽しみたいと思います。

□「学校が休みの間」

岩本響

ぼくは、サッカーチームに入っています。

コロナウイルスで学校が休みになる前は、月曜以外、練習と試合がありました。遠せいや合宿もあったのに、コロナウイルスのせいで、全部なくなりました。すごくショックでした。

チームからは、毎日練習するようにと言われてました。だから、たくさん練習して過ごしました。そして、やっとチームの練習が週二回になり、始まりました。とても楽しいです。

お母さんが、修学旅行はもしかしたら、ないと言っているのですが、ありますか？とても楽しみにしているので行きたいです。

□「長期休み」

井阪満穂

私は、コロナのせいでできた長期休みが来たとき、(えーっ)と思いました。なぜかと言うと、学級閉さが終わった直後に、休みが来たので、(せっかく久しぶりに友達に会えたのに、また休みか。)と思っていました。

正直、こんなに長い休みになるとは、思っていませんでした。緊急事態宣言が出ると、塾も休みになり、オンライン授業に変わりました。しかも、コロナ感せん対策のために、友達にも会えなくて、塾のある時以外は、案外ひまでした。お母さんは、マッサージだとか、お兄ちゃんは筋トレだとか言っていました。私はひまでした。今では、どっちかに付き合っていれば、ひまじゃなかったらうなと思います。

やっと学校が来れるようになり、友達と会えてよかったです。

□「六年生になって」

戸川翔太

ぼくは、六年生になって思ったことがあります。一つはコロナウイルスのえいきょうでなかなか学校にはいけなくなったことです。感せんかく大を防ぐためにはしょうがないなと思うけど、やっぱり学校には行きたいなと思いました。

二つ目は勉強のことです。五年生も中と半ばに終わってしまっ、テストで良い点を取れるか心配です。

このようにいろんなことがあるけど、精いっぱいがんばりたいと思います。」



香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集 「みんなで」 第16号 2020.6.10(水)

— 社会の授業から 6 / 8 —

### 法隆寺と聖徳太子



— 社会の授業から 6 / 8 —  
最古の木造建築物である法隆寺を元に飛鳥時代について学習しました。お寺(寺院)と言うと、古くて、こげ茶色の木の色しかイメージがわきませんが、建てられた時のお寺というのは、柱が朱色、かべが真っ白、窓が緑色という大変きらびやかなものでした。古墳時代の豪族が、大きな古墳を作って自分達の力を示したように、飛鳥時代には、法隆寺など大きな寺院を建て自分達の力を見せつけました。聖徳太子は斑鳩に法隆寺を建て、蘇我氏は飛鳥に飛鳥寺を建てたのでした。

お寺は、今の大学の役割をしていました。法隆寺にも多くの僧侶が仏教をはじめとして、天文学や薬学を学び、新しい学問を学び、中心地だったのです。中国や朝鮮から伝わる新しい技術や文化は、寺院を通して伝えられたのでした。

法隆寺が一四〇〇年も残ったのには、それなりの理由があります。木造建築物が残るためには、いちばんの敵である火からお寺を守らなければなりません。そのために、燃えにくくするために、土壁でおおっているのです。

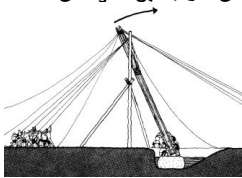
また、金堂の屋根に注目すると、下のひさしの部分が二重になっているのがわかります。金堂は中国の建築の技術を用いて建てられた飛

鳥時代の建物ですが、建築後にしだいに軒が下がってききました。というのも、屋根の重さはかなりのものだったのです。それで、金堂の四すみの柱の外に軒を支える柱を立てることにしました。しかし、それだけでは美しさをそこなうので、金堂の一階の周囲に囲いの窓と廊下をつけたのでした。屋根の重さにたえる工夫がされているのです。

#### 法隆寺の特徴

- ① 世界最古の木造建造物であること  
(五重塔・金堂・中門)
- ② エンタシスという柱の回廊  
・ギリシャ建築の影響を受けていることから、飛鳥時代の人は外国の国と広く交流していたことがわかる。
- ③ 日本最初の世界文化遺産であること
- ④ 五重塔はお釈迦様の墓であること。(心柱の下に釈迦の骨を埋めてある。)

聖徳太子は蘇我氏と一緒に仏教を広めることで、豪族たちを朝廷に従わせ、国をおさめて行ったのでした。法隆寺や四天王寺を建てたり、十七条の憲法を作ったり、また、遣隋使を派遣した聖徳太子はどのような人物だったのでしょうか。



五重塔の心柱を立てる様子

## ☆授業の感想から☆☆



・戦いがさかんだったところに、天皇中心の国づくりをした聖徳太子はすごいと思いました。十七条の憲法で定めたものを見ると、意外とちゃんとしてきていて、びびくりしました。

(堀川)

・聖徳太子は六六二年の四九才で亡くなったが、何で亡くなったのか気になった。聖徳太子は十七条の憲法を定めたり、冠位十二階を制定したりしてすごいなと思った。

(川原)

・昔にこんなにすごい建物があったとは思いませんでした。一度飛鳥時代に行ってみたいです。お寺は今は何かを願う所なのに、あそこで勉強していたなんて思いませんでした。

(谷口)

・聖徳太子は国をまとめた上に、法隆寺を建てるなど、文化の発展にも力をつくしたので、すごいと思います。私もみんなを引っ張っていきけるような人になりたいです。

(土家)

・飛鳥時代は、残こくな時代なのに、それでも政治のいろんな決まりをつくり、建物、仏教を取り入れ、日本をよくしようとした聖徳太子はすごいと思った。聖徳太子のことを見習おうと思った。

(戸川)

・聖徳太子は、国が良くなるように、冠位十二階や十七条の憲法を定め、すごい思いやりのある人なのかと思います。みんなのため、国のためにいろいろ考えていてすごいなと思いました。(澤田)

・聖徳太子は、国をまとめて憲法を作ったえらい人だとわかった。豪族をまとめたことがすごいと思った。

(安川)

・国を一つにしようという願いで、十七条の憲法を作った聖徳太子は、とてもすごい人だと思った。その人が、毎回、一番高いお札にかかれていたことすごいなと思った。

(藤岡)

## みんなの日記から



□「もし、ぼくが縄文時代に生きていたら」

佐藤郁弥

ぼくがもし縄文時代に生きていたら、今みたいに満足した生活はしてなくて、不便な生活をしていたと思います。それと、ぼくは太いので、縄文時代に生きていたら、食べ物がないとやせていたかもしれません。かりの生活なので、体がきたえられて、足も少し速かったかなと思います。でも、縄文時代だとゲームとか楽しいことがなくて、おもしろいこともなく、ひまだっただろうなと思いました。

ぼくが縄文時代でいいなと思ったことは、環境汚染がないという所です。縄文時代は、今みたいに、工場や自動車がなく、自然いっぱい、空気もいいのが縄文時代の良いところですよ。

でも、何と言っても現代が一番だと思います。

□「ぼくが縄文時代に生まれたたら」 酒井琳世

ぼくが、縄文時代に生まれていたら、かりに行ったり、木の実を取ったり、家族みんなに食べ物を食べさせたいです。とったものをあたたためて、おいしく食べてもらいます。それで、幸せな家庭ができた方がいいです。

家族は七人です。みんなでかりに行つて、イノシシをとめて、イノシシの肉を食いたいです。子どもには、木のえだをおつて、火をおこすやり方を教えたいです。その時、シカがおそってきたら、やりてついで、子どもを守りたいです。

□「弥生時代のぼくの先祖」 谷口剛琉

弥生時代のぼくの先祖は、たぶん田んぼ仕事をしていたと思います。みんなのためや大王のために、米を作っていたと思います。

そして、高床式倉庫に米を保存して、大王やみんなに米をあげないといけません。食べる物がないと、みんながすぐに死んでしまうからです。

他には、ぼくの先祖は、マイペースで、友達を大切にしていると思います。ぼくも、これからも、友達を大切に、すぐに死なないうよう、ご飯をたくさん食べて、元気にすくすく育ちたいです。





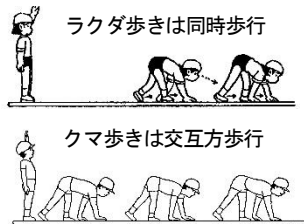
香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集 「みんなで」第17号 2020.6.11(木)

マットのないマット運動 その①

本当だったら、六年生の体育館体育は、「跳び箱」を行っているはずなのですが、器具をさわってはいけないことになっているため、体育館体育はマット運動を行います。しかし、このマットも器具なので、マットのないマット運動を行います。正式には、マットを使わなかったら、マット運動と言わないので、まちがっているのかも。知れませんが、四年や五年でも、マットを使わずに、マット運動をやったことはあるので、マットの使わないマット運動をこれから始めたいと思います。

それで、みんなにはもう何度もやってきた「ねこちゃん体操」をやってもらいました。みんなは四年生の時からやっているの、難しい「ブリッジ足上げ」は、できなくても、その他の運動はすんなりできたようです。

その後は、これまでの復習です。「動物歩き」では、「クマさん」と「ラクダさん」の区別がつかなくて、交互歩行、同時歩行ができない人が、初めは多かったようです。(ラクダやキリンのような腰の位置の高い動物は同時歩行になるようです。)  
「頭で分かっていても、体がついて



こない)ように、みんな悩んでやっていました。でも、うでや足の動かし方が分かると、リズム良く動物歩きができるようになっていました。

☆授業の感想から 6/8

・今日は楽しかった。クマさんとラクダさんができなかつたので、次はがんばる。(木村)

・ぼくは、この動物歩きの中で、カニさんが一番難しかったです。それは、内ガニ、外ガニと、手と足の動きがややこしいからです。(佐藤ふ)

・動物歩きは、今までやったことのない動きだったのでつかれました。ねこちゃん体操は、4年やらやっているけど、まだ、難しいから、できるようになりたいです。(谷口)

・ねこちゃん体操は、4・5年の時よりは、良くできたなあと思いました。でも、ブリッジ足上げはできませんでした。動物歩きでは、ラクダとクマは自分では、全然できないだろうと思っていましたが、ふつうにできました。カニさんもうまくできました。(上田)

・ラクダ以外は、自分的にはできたけど、クマさんとカニさんはとてもむずかしかったです。家でもやってみます。(三瀬)

・去年は、アンテナが出来なかつたけど、今日は出来たので良かったです。クマとラクダは、先生に上手いと言われたので、うれしかったです。(佐藤こ)

# みんなの日記から



□「もしぼくが縄文時代にいたら」 塚本祥真

ぼくは、本で読んだことがあります。縄文時代には、縄文クッキーというどんぐりで作られたクッキーがあったと聞いたので、たぶん、その縄文クッキーを食べていたと思います。それと、木の实などを取っていると思います。あと、縄文土器を作っていると思います。取ってきた物を入れて、食べています。

竪穴住居の柱をどのようにやって立てたのを見たいです。それに、狩りの様子や、狩りの仕方、どんななを作って、どのくらい時間がかかったのかを知りたいです。魚もどいう風にして取っていたのかを実際に見たいです。貝塚も見たいです。

そして、どのようにして縄文時代から弥生時代に移っていったのかも知りたいです。

□「もし私が縄文時代に生きていたら」

渋谷桃香

私が縄文時代に生きていたら、縄文土器のこたや、竪穴住居の柱をどう建てるのか、そして、三内丸山遺跡が急になくなったのはどうしてかが知れるかも知れません。

私の予想では、縄文土器一個作るのに、だいたい二時間三十分かかると思います。それは、ねん

土をこねる作業、へびみたいに重ねる作業、形を整える作業、火をつける作業などいっぱいあるからです。

次の、竪穴住居の柱をどう立てたのかということについては、私は、と中まで転がして、穴がある所に入れて、みんなで持ち上げたのかなと思います。

最後の、三内丸山遺跡が急になくなった事については、私は、食料不足が原因で、木の实など栄養のある物がなくなったのではないかと思います。

昔の人たちは、今の私たちが知らない知恵を使って、狩りなどをしていたのがすごいなと思います。これから、もっと歴史の勉強をして、色々なことを知りたいです。

□「もし縄文時代に生きていたら」 木村優太

もし、縄文時代にぼくが生きていたら、ぜったいにたおれていたと思います。それは、今では機械でするものも、縄文時代は素手でするからです。食べ物もひろって、縄文土器でにたきします。きつそうであおれると思います。

でも、縄文時代の人はへっちゃらで、そのメニューをこなしているのです。本を読んでいて、縄文土器を作った昔の人は、器用だと思いました。

縄文時代は、いろんな苦労があるから、ぼくは平成に生まれてよかったなと思います。

連載「先生が小さかったころ」(150)

「ノープラスチック生活・昭和時代」

奈良公園で死んだシカのおなかからレジ袋が見つかったとか、クジラのおなかから大量のビニル袋が見つかったとか、ペットボトルもふくめ、今やプラスチックはやっかいなゴミとして、世界中の問題となっています。

先生が小さかったころには、レジ袋はなくて、買い物をするときは、買い物かごを大人は常に持っていました。八百屋に行ったら、おじさんが新聞紙にくるんで野菜を売っていたし、肉屋では必要な量を量って、タケノコの葉でくるんでもらいました。たこ焼きは木の舟に入れていました。(これは今でもやっているお店があります)。パンも一つ一つビニル袋に入っていないくて、山積みされたパンをトングで取って、おばさんが紙袋に入れてくれました。まさに、ノープラスチックの生活をしていました。

こんなプラスチック問題に対して、会社もいろんな智恵を出し合っています。パスタのストローをはじめ、包装紙を紙にしたり、自然に帰るレジ袋も開発されたりしています。プラスチックに代わる新しい素材を開発はこれからも急速に進むことでしょう。しかし、それよりも、元々ノープラスチックの生活をしてきたのだから、プラスチックを使わない生活はできるはず。ヒントは、先生が子どもころの昭和時代にたくさんあると思います。



飛鳥寺大仏(右)と入鹿の首塚とされる五輪塔(左)。入鹿の首塚は飛鳥寺の近くにあります・

## 香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなで」 第18号 2020.6.12(金)

### 古墳時代・飛鳥時代のまとめ



古墳時代と飛鳥時代は、やっと日本の形ができてきた時代です。聖徳太子、蘇我氏、天智天皇、天武天皇など、歴史上の有名な人物も現れました。縄文時代や弥生時代と比べて、日本の歴史もずいぶんはつきりわかるようになってきた時代です。天皇中心の国づくりを進めてきた時代であり、巨大な古墳や、法隆寺を始めとする大きな木造建築物からは、どれだけ天皇の力が強かったかということがわかります。

それらを作ろうとすれば、たくさんの方の労働力が必要となります。たった一人のお墓を作るのに、非常にたくさんの方が働かされ、きつと、ほとんど多くの人は、いやいや働かされていたことでしょう。ほんの一部の力を持った人たちが、ほとんどの人を支配する時代だったとすれば、ほとんどの人の先祖がそのとき働かされていたかもしれないのです。聖徳太子を始めとする歴史上の人物の業績を学習することも大事ですが、それ以外の直接私たちの先祖が何をしていただろうか想像することも一方では忘れないでほしいと思います。

### ☆授業の感想から 6/10

・蘇我氏をたおしたのを乙巳の変とよぶことを知りました。大化の改新によるいろんな出来事をもっと知りたいと思った。(戸川)

・聖徳太子が亡くなって、豪族、特に蘇我氏が力をふるっていた時に、蘇我氏をたおした、新しい時代にした中大兄皇子と中臣鎌足は、本当にすごいなと思いました。(堀川)

・当時の天皇は、十人ぐらいの人と結婚していたと聞いて、おどろいた。蘇我蝦夷と入鹿の親子が力をふるっていたことがわかった。(藤岡)

・租・調・庸の庸は十日働かないといけないことを知ったが、どれくらい大変なことなのか気がなつた。昔の米3%納めることは、かなりきつかったんじゃないかと思う。(八田)

・ぼくは、大化の改新があり、ここで初めて年号や、水時計が作られたと思うと、すごいなと思いました。ぼくは、年号は、どうやって決めたのが気になりました。(西野)

・この時代の天皇は、こんなにいっぱいの人と結婚するだと思って、びっくりしました。それに、親せきまで殺していることにもびっくりしました。(高山)

・ぼくは、今回の授業で、いつの時代でも、決まりやまとめる中心となる人がいないと、人々の中で争いが起こるといふことが分かりました。その争いごとをなくして、新しい政治のしくみを作った中大兄皇子はすごい人だと思いました。(佐藤ふ)



□「もしぼくが縄文時代に生きていたら」

中岡樹

もし、ぼくが縄文時代に生きていたら、食べ物  
は余り取れていなかったと思います。なぜかと言  
うと、ぼくは、生き物を殺すのが、余り好きじゃ  
ないからです。ですが、食べ物がない時は、仕方  
なく生き物を取って食べていたと思います。

でも、現代より昔の方が、地球には良かったと  
思います。現代は便利な物があるけど、気温が  
上がって暑くなっています。縄文時代は、今のよ  
うに暑くなったりしないので、いいと思います。  
スマホや自動車がなくて不便で、昔は便利な物  
はないけど、地球にやさしいからいいです。

現代でも、地球にやさしくて、便利なものが  
あるといいです。

□「もし私が弥生時代に生きていたら」

井上冬花

もし私が弥生時代に生きていたら、米作りなど  
もせずに、他の人としやべっていたと思います。一  
けん命働いているふりをしていたと思います。お米  
の収穫も、すぐにあきそうなので、やっていなかつ  
たと思います。

私が弥生土器を作ったら、くやくにやの土器に

なると思うので、他の物を作って楽しんでいるか  
もしれません。弥生土器を運んでいる時に、落とす  
て割っているかもしれません。

弥生時代には、争いがあったので、私は争いなど  
せずに、ずっとかくれていたと思います。争いはケン  
カとちがってものすごくこわいので、何もせずにだ  
まって、かくれていると思います。一度弥生時代を  
見てみたいです。

□「もしも私が弥生時代に生きていたら」

井阪満穂

私がもし、弥生時代に生まれていたらと言っ  
ことで、前々から考えていたことがあります。

もし、弥生時代に生まれて、今の知識があつた  
ら、卑弥呼みたいに天気を教えていたと思いま  
す。私が思うのには、卑弥呼には、占いかじや  
なくて、雲が出てきたから雨が降るとか、鳥が  
低い所飛びから雨などの知識があつたのだらう  
と思います。小学校で習った知識を使ったら、私  
も卑弥呼になれるのではないだろうかと思いま  
した。

そう考えると、小学校で学んでいるものは弥  
生時代にはスピリチュアルの力と考えるとされて  
いたようで、私たちの学んでいるのはすごく高  
度なものなんだなあと思いました。

【考古学のお話⑥】—日本人と犬—

またまた、佐原さんの著書『食の考古学』からの  
お話です。今回からは、犬のことについてのお話。

奈良に都のあつた時代、奈良時代は天皇や貴族が  
政治で国をおさめていた時代です。奈良の大仏を  
造らせた聖武天皇、あれだけ大きな大仏を造るこ  
とができるのだから、天皇がすごい力を持っていた  
ことがよくわかります。同じ時代に、長屋王とい  
う、有力な貴族がいました。この人は、聖武天皇の  
かわりに天皇になっていたかもしれないと言われ  
るぐらいの力のある人物だったそうです。「なつて  
いたかもしれない」…と言つるのは、この長屋王は、  
七二九年に、天皇に反逆した疑いをかけられて、自  
殺して死んでしまったからです。

その長屋王が住んでいたと思われる屋敷あと  
が、一九八六年に昔にあった奈良そごうデパートの  
工事の時に発見されそこから、非常にたくさん  
の木簡が出てきました。その数、何と三万五千点。木  
簡とは、紙のなかった時代なので、墨で文字などを  
書いた木ぎれのことです(チュウ木じゃない)その  
木簡に、犬についてのことが書かれています。長屋  
王の屋敷には、犬係がおかれていたそうです。これ  
は犬の世話をする係のようです。そして、驚くこ  
とに、この木簡から、「犬が米を食べていた」ことが  
わかつたのでした。今でこそ、犬が米を食べること  
もあるけど、奈良時代というのは、一般の人たちに  
とつて、口にすることさえ難しい時代です。いくら  
大金持ちの長屋王といつても、本当に犬に米をやっ  
ていたんだろうか?不思議に思います。

そこで、学者さんたちはいろんな学説(考え)を  
立てます。一体何のために、犬に米を食べさせてい  
たのでしょうか?みなさんはどう思いますか。